

第54回稲城市スポーツ大会 幼児小学生の部 競技実施要項

1. 参加資格

2026年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チームおよび、稲城市内在住、在勤、在学者で構成されているチーム

2. 競技規則

以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会2025-2026年度『サッカー競技規則』に準ずる。試合会場は総合G・長峰VF・南多摩G・南多摩覆蓋G(低学年のみ&スパイク禁止)退場者については次の試合1試合のみを出場停止とする。

3. 基本の試合時間(熱中症対策などにより変更の場合有り)

幼 児：予選・決勝 8分ハーフ

1年生：予選・決勝10分ハーフ

2年生：予選・決勝12分ハーフ

3年生：予選・決勝15分ハーフ

4年生：予選・決勝15分ハーフ

5年生：予選・決勝20分ハーフ(参加チーム数が多い予選は15分ハーフの場合あり)

6年生：予選・決勝20分ハーフ(参加チーム数が多い予選は15分ハーフの場合あり)

いずれの試合もインターバル(前半終了および後半開始のホッスルの間)は5分とする。

※幼児の部は3分とする。

4. 試合

別途定める学年ごとの組み合わせ表に基づき、リーグ戦やトーナメント戦により優勝以下を決定する。

幼児の部、1年生は5人または6人制、2年生から6年生は8人制とする。

試合の成立について、試合開始時に7名(幼児、1年生は5名)が出場している状態であること。試合中にけがなどにより7名(幼児、1年生は4名)以下となってもその試合は続行する。

試合が不成立となったときはその試合を「5:0」(リーグ戦)

またはその時点での得失点差が多い方を採用する。

リーグ戦の順位については、以下にて決定する。

勝ち点の扱い 勝:3、引分:1、負:0

順位の優先順位 :①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対決の結果 ⑤トス

トーナメントにおいて同点の場合は3名ずつのPK戦により決定する。以降サドンデス。

5. グラウンドのサイズ

別途定める「グラウンドサイズ」による。

6. 会場運営(各チームに割り当てられます)

(1) 会場運営のチームは学年ごとの組み合わせ表に記載のチームが担当する。

(2) 南多摩Gや覆蓋Gでの選手・父兄等の入場は第一試合開始1時間前以降とする。

スタッフ以外の入場に関しては総合Gでは8:45から、長峰VFでは8:30から可能となる。

(3) 当日試合のあるチームのスタッフは、南多摩Gや覆蓋Gでは第一試合開始1時間半前、長峰VFと総合Gは朝8時30分に集合し、am/pmの指定が無い限り、原則全チームの協力によりグラウンドの準備と後片付けを行う。

午前午後でチームが分かれる場合は、午前のチームでグラウンドの準備を行い、午後のチームで後片付けを行う。

(4) 会場運営チームの役割(各日2チームで運営に当たるのでチーム間で分担可)

① 南多摩スポーツ広場では入り口の鍵を第一試合開始1時間30分前に開錠するので同時に集合。他グラウンドはそれぞれの開場時間に合わせて集合する。

② 当日の試合進行表をA3に拡大し、掲示する。

③ 空気圧系、空気入れ、WBGT計、審判、本部用に飲料水・紙コップ・ゴミ袋を用意する。

④ 南多摩G・南多摩覆蓋Gにおいては(別途指示がある場合を除いて)

A駐車場より先へは本部・運営(1台)以外の車を進入させない。

⑤ 総合Gにおいては

グラウンドのライン引きは基本連盟少年部が依頼する。

選手と父兄等観戦者は8:45以前には入場しないよう入口前に集まらないよう制限する。

⑥ 長峰VFでのスタンド観戦者には、試合ごと入替え制を守るよう誘導する。

⑦ 試合進行表に試合結果・審判チームを記載し少年部長又は大会担当チームに報告する

⑧ 試合終了後、全チームの退出後グラウンド状況を確認し、場合によっては施錠する。

⑨ 南多摩Gの倉庫内石灰の残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。覆蓋Gでの石灰は、その都度南多摩Gの倉庫から必要数だけを持って行く。(トイレトペーパーも)

また使用済み石灰袋は運営担当チームが持って帰り処分する。

⑩ 南多摩グラウンドでは最後の2試合のチームの選手及びスタッフに、芝の修復のため、掘れたところに砂を入れる作業をするよう指示する。

⑪ 運営担当は基本的には2名で、本部としての役割を理解している者が担当する。運営の役割をせずにただ本部に座って観戦することは不可とする。本部から応援はしない。

運営業務は理解したが、慣れていない担当の指導の為もう1名待機することは認める。

7. 出場チームの構成

別途定める「チーム登録条件」を参照。

8. ベンチ入り

選手の人数制限は設けない。ベンチ入りスタッフは5名以下とする。応援の父母とは明確に分離する。感染症対策など入場制限のある場合は別途指示する。

テクニカルエリアを設置しないため、立つ、立たないにかかわらず、その場所でただ1人のベンチスタッフのみが戦略指示をすることが出来る。ベンチから離れての指示は認められず、注意や懲戒罰の対象となる。ベンチ付近での電子機器の使用も懲戒罰の対象となる。

9. 交代

F Pは交代ゾーンからの「自由な交代」とするが、G Kは競技規則通りの手順で行う。

飲水時やクーリングブレイク及びハーフタイムでの交代は、終了後主審の管理の下行う。

10. ボール

ボールは4号公認球とし、2年生以下は「0.6kg/cm²」・3～6年生は「0.8kg/cm²」に調整したものを当該チームが持ち寄る。

11. ユニフォーム

原則としてFP・GKともに正副(袖の有るシャツ・ショーツ・ソックス)を用意し、それぞれが容易に識別できるものであること。黒色のショーツ・ソックスを認める。

GKは最初からショーツとソックスはFPの物を着用しても良い。

アンダーシャツ・アンダーショーツ(タイツ)の色は問わないが、チーム内で統一する事。外部に装着するソックステープなどの色はソックスと異色も可で、チーム内統一も不要。戦術的にGKを交代する場合は背番号の変更はできず、GKユニの着回しも相手と同系色のユニフォームも認められない。

GKの予期せぬ事態でのFP選手との交代の際、その場に適応したユニフォームが無い場合は、他選手との色別や安全性を備えた背番号の無いシャツの着用や、退くGKのユニフォームを着用して対応する事が出来るが、ビブスは基本的に認められない。

暑熱対策として飲水タイム・クーリングブレイクが採用された場合に限り、つばが柔らかい素材の帽子をつばを後ろにして着用することを認める。

キャプテンマークは必須ではないが着用する場合は引っかかったり緩くて外れたりしないよう安全面に気を遣う。基本的に規定に準ずるものの着用が望ましい。

12. その他

- ・疑義が生じた場合は本部に提起し、役員立ち合いのもと出場チーム間で確認を行う。
- ・別紙、熱中症や感染症の対策が配信された場合は、それを遵守する。
- ・本大会自体、または特定のチーム・個人を批判することを目的とした文章や、同目的で大会会場内で撮影した写真動画等を公開することは固く禁ずる。
- ・静止画・動画に関わらず肖像権の侵害に当たる場合、それらのSNS投稿を禁止する。
- ・本要項に定めのない不測の事態が生じた際には、少年部に必ず報告する。少年部はサッカー連盟役員と共に誠意をもって協議し、円満に解決を図るよう努める。
- ・参加者の氏名、大会結果及び大会の様子(写真等)について、市、スポーツ協会及び競技団体ホームページ、スポーツ協会発行誌に記載する場合があるが、参加申込書の提出により上記取り扱いに関する承諾を得たものとする。
(公表を望まない場合は、その都度少年部に相談すること。)
- ・なお住所、氏名等の個人情報、本件の目的以外には一切使用しない。

以上